

そ、そろそろかな？
いつもこのぐらいの
時間なんだけど…

きたっ!!

ありがとう
じいや

ドキ♡

ドキ♡

ごっ、ごきげんよう!!
お姉さま!!

ごきげんよう栗栖川さん
今日も元気いっぱいね♡

あっ、ありがとう
ございますっ!!

…ふあああ、今日もお姉さま綺麗だなぁ〜♡
なんかふんわりといい香りもするし…

…それでね、
お母様ったら
また間違えて
赤ピーマンと
ジョロキアを…

あ、そうそう
栗栖川さん

は、はいっ!!

やばっ!!
凝視してたの
バレたっ!?

うぐう…もっと近くで嗅ぐことができれば…
そして思いっきりハグしてもらいたい…
でもそんなことお願いして変わった子って
思われちゃったらヤだなあ〜…

今週末はお暇かしら？

や、やったあ〜♡
お姉さまからの誘いだっ!!
あとで美容院キャンセル
してこぼ〜♡

一緒にどうかな〜って♡
ただね、ちょっと泊まりに
なっちゃうのよ…

!? は、はいっ!!
空いてますケド…

それなら良かったわ!
今度ウチのホテルの
プレオープンパーティ
があるんだけど、



ぜったい
いきます!!



じゃあ宿題とかササッと終わらせるから
金曜日終わったらウチにいらっしやい♡

は、はいいいいっ!!

……でねでね、
最近宿題終わったらご褒美で
子犬動画をよく見るんだけど
…ほら、この子♡



ああ!!
かわいい〜♡

ね〜♡
でさ、もしもの
話なんだけど…

もし私が栗栖川さんを魔法で犬にして
飼いたいって言ったらどう思うかしら？

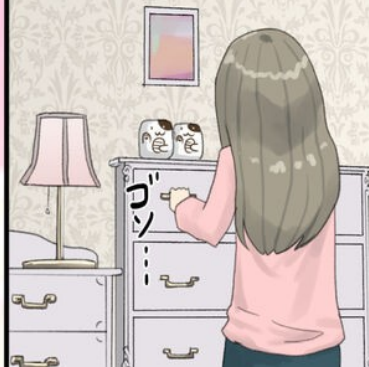
えっ、わ、私なんかで
よければ是非っ!!



ほわわ〜♡



そう!? じゃあ…
さっそくなんだけど…



これ、
つけてもらおうかな~♡

.....首輪...
ゴクリ...

はいっ、そのまま!

え、ええっと
...わんっ

あはは♡

じゃあ「栗」栖川さんだから
これつけてる時は
マロンちゃんって
呼ぼうかな~?

マロン...

ほら~マロンちゃんお手!

.....わんっ

じゃあさ、もっとう...
恥ずかしさを吹き飛ばすほど
徹底的にさ...ワンちゃんに
なってみない? ♡

徹底的...

あはは♡
やっぱり恥ずかしかった?

あの...
ハ、ハイ...

そっかー♡

うんっ♡

おっ♡

プシュ...

そう、徹底的に...

お姉さ...ま...?

だってほら、こんなのじゃ
まだまだ人間じゃない？
恥ずかしいのも無理ないわ...

ぐい
ぐい
ぐい

カアア...
カアア...
カアア...

でも本当は
これ以上のこと...
期待してるんでしょ？

じゃあ今から
ご主人さまとして
最初の命令を
してあげる...

まずはそうね...

ドクンッ!!

服...
ワンちゃんには
必要ないよね...?

全部...
脱いじゃおっか♡

あ、でも無理に
とは言わないわ♡

ピッ

引き返すなら今が...

あの...
お姉さま...

ヒクヒク
ヒクヒク
ヒクヒク

スツ...

ぬ、脱ぎました…

ま、間違いなく
イケナイことされちゃう…

ずいぶん聞き分けが
いいじゃないの♡
じゃあいいわ、
鏡の前で手を広げて…

ドキ
キ

ドキ
キ

「ぬ、脱ぎました…」

私はお姉さまの前であられもない姿に…は、恥ずかしい…

だけどそうなのだ…私はお姉さまの読み通り「これ以上のこと」を期待しているのだ。

そしてこの感じ…お姉さまの言う「これ以上のこと」とは間違いなくイケナイことだ…

それにここまでしたんだ、一体どんなイケナイことをされちゃうんだろう？

…と内心とてもワクワクしている。

「ああ、ずいぶん聞き分けがいいじゃないの♡

じゃあいいわ、ちょっと準備するからそこの鏡の前で手を広げて…」

は、はいっ!!
できましたっ!!

いいわあ♥
じゃ、お望み通りもっと
ワンちゃんにしてあげる♥

なにやら部屋にシートが広げられ、塗料のような缶が準備される。
そして私は言われたとおりに鏡の前で手を広げた。

「は、はいっ!! できましたっ!!」

「いいわあ♥ じゃ、お望み通りもっとワンちゃんにしてあげる♥」

「は、はいっ!!」

もっとワンちゃんにされてしまう!
お姉さまだけのワンちゃんにされてしまう!!

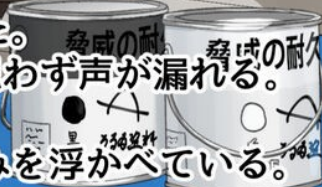


うひゃっ!!!

ほおら、動かないの♡

塗りっ!!

お姉さまは私の腕を塗り始めた。
「うひゃっ!!!」初めての感覚で思わず声が漏れる。
「ほおら、動かないの♡」
そういうお姉さまは満面の笑みを浮かべている。



ひあっ♡

はひっ♡

こういうところもちゃんと塗り残しのないようにしておかないとね♡

すりゅすりゅ♡

お姉さまは手際よくどんどん私の体を塗っていく。
「こういうところもちゃんと塗り残しのないようにしておかないとね♡」

お尻の割れ目の中まですりゅすりゅと刷毛が入り込む。

「ひあっ♡ はひっ♡」

その柔らかい毛の束が私の敏感なところを撫でる度に情けない声上がる。

その度にお姉さまが「あらマロンちゃん、こういうのが好きなの？ イケナイ子ねえ～♡」

・・・と言わんばかりの嘲笑の目を私に向ける。

あああ、私の弱みがどんどんお姉さまに握られていく・・・

え、これが…私？

ピカピカのマネキンみたいで
すっごく綺麗…



お姉さまに精神まで支配される感覚を覚え始めた頃には体は塗り終わっていた。
こ、これが私…？
白く塗られた自分の体はなんだかピカピカのマネキンみたいでとても綺麗だ。
「ほらほら～、顔も塗るわよ～♡」

んんっ!!!

グ
ン
ッ
!!!

「んんっ!!!」

お姉さまの刷毛は容赦なく私の顔を塗りつぶす。



うわあ〜♡

うわあ〜♡

目を開くとそこには人形のような女の子が目の前に立っていた。

「うわあ〜♡」

正直自分の裸体ってこんなに綺麗だったんだという驚きも感じつつ
思わずうっとりしてしまう。

黒 耐久的
BLACK 樹脂
耐久的
樹脂

ダルメシアン…？
…なんだけども…このままだと
髪の毛の色が浮いちゃうな～…



お姉さまは手際よく次の色を塗っていく。
あ、これダルメシアンだ…
自分の体が一気に犬っぽくなっていくことに軽い興奮を感じる。
ダルメシアン…なんだけども…このままだと髪の毛の色が浮いちゃうな～…
とかなんとか思っていたらお姉さまから、

髪の毛もブリーチしちゃうけど、
ここまでされておいて
ダメってことはないでしょ？

あはは…
考えてること
読まれてるよ…

じゅべし
じゅべし…

「髪の毛もブリーチしちゃうけど、ここまでされておいてダメってことはないでしょ？」

お姉さまは手を止めずに笑顔のまま言った。の耐久

あはは…私の考えてること全部お姉さまに読まれてるよw

しかし初めてのブリーチがこんなガダチで経験することになるだなんてなあ〜…

はい、終わり！

うわあ、私どんどん取り返しのつかない感じで犬になっていってる…

「はい、終わり！」

これで髪の毛全部脱色しちゃおうよ…

うわあ、私どんどん取り返しのつかない感じで犬になっていってる…



じゃ、乾くまで時間かかるから
私が呼ぶまでずっとそのポーズのまま
待機しててね♥

へっ？

「じゃ、乾くまで時間かかるから私が呼ぶまでずっとそのポーズのまま待機しててね♥」

「へっ？」



はい動かない！
せっかく綺麗に塗れたんだから
完全に乾くまでそのまま
「待て！」だよ！

あの... お姉さま...



「あの、お姉さま...」

「はい動かない！ せっかく綺麗に塗れたんだから完全に乾くまでそのまま「待て！」だよ！」

そ... そんな...
うえええ...

「そ、そんな...うえええ...」



もうっ、髪の脱色ってのが
こんなにも大変なものだとは
思ってませんでしたよ!!

あはは♡

塗ったり洗ったり
塗ったり洗ったり...

はい、
おつかれさま~♡

ブ"オオオ!!



まあほら、その甲斐あって
耳をつけたらこの通り、
こんなにもかわいい♡

ほ、ほんとだ...
私...ワシちゃんだ...
これは...ゴクリ



お...おねえ...
せ...ま...♡
だ、だめだ...
抑えられない...!!

なあに?

あらあら♡
まだ尻尾つけてないのに
もう完全にワンちゃんね♡



お姉さまのニオイ♡お姉さまのニオイ♡
お姉さまのニオイ♡お姉さまのニオイ♡
お姉さまのニオイ♡お姉さまのニオイ♡



マロンちゃんは
甘えんぼうさん
なんだね~♡



あああああ!!!
頭なでてもらってらうらうら!!!
(マロンちゃん?)



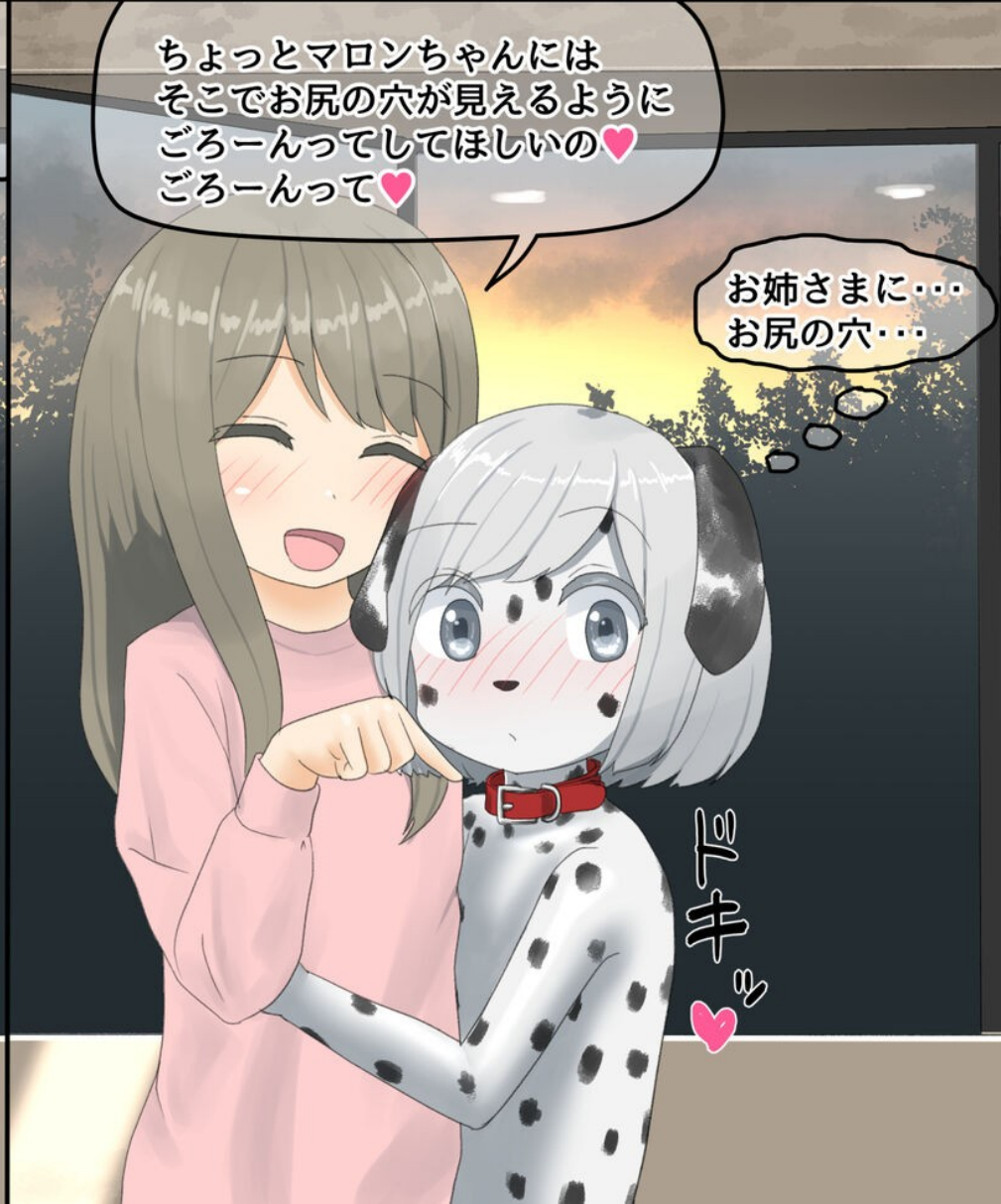
マロンちゃん!

わ...じわな...
はいっ!!

ほら見てっ、このしっぽ!
今からこれつけてもっと
ワンちゃんになってもらうから、



ちょっとマロンちゃんには
そこでお尻の穴が見えるように
ごろーんってしてほしいの♡
ごろーんって♡



お姉さまに...
お尻の穴...

りき♡



あ、あのお姉さま…
本当にお尻の穴…
じゃなくて…
えっと…

いいのよマロンちゃん、
あなたは犬になるんだから
もう何も難しいことなんて
考えなくていいのよ？
安心してごろーんって
しなさい♥

「あ、あのお姉さま…本当にお尻の穴…じゃなくて…えっと…」

黙ってここまでされておきながら今更何を聞いてるんだ、私…

どうやら覚悟が決まっていない私の人間部分が最後の抵抗をしているようだ。

「いいのよマロンちゃん、あなたは犬になるんだから

…もう何も難しいことなんて考えなくていいのよ？ 安心してごろーんってしなさい♥」



お姉さまの言葉に押されて思い切って私は床に寝そべり、お尻の穴をお姉さまに向けた。

「わ、わん♡」

あ、あはは、お姉さまに私の恥ずかしい部分全部見せつけてる…

でもなんだかすごく満足している感覚がある…

こ…これが私の中に入ってくるんだ…

ドキッ

ひょっ♡

「よーしよしよし、マロンちゃんいい子だね～♡
それじゃあ安心してどんどんワンちゃんになっていってね♡」
しっぽがお尻にあてられる。
こ…これが私の中に入ってくるんだ…



う…
入ってきてる…
///

ずいずい
ずいずい
ずいずい
♡

ずぶずぶ…
う…入ってきてる…
このしっぽをつけたら私はもう完全に…

入ってく(´)ゆ♡
入ってくりゆ♡
わ...
わん♡



じゅ
じゅ
じゅ
じゅ
♡

うへへへへ...変な感覚...
入ってくる入ってくる...わ、わん♡
ああああ!!! 私の頭もどんどん犬になっていく...

は...
はいっっちゃったあ...♡




すっ...
30
...
11...♡

ずぷっ♡

は、はいっっちゃったあああ...♡

うわあ〜...もしかして痛いんじゃないかとかなんとか思っていたけど
まるで犬になることを自ら受け入れるかのように
すんなりと飲み込んだ自分のお尻に驚きだよ...



ごしゅじんさまか…
こっちみて…
わうてるぅ…

はあはあ…ごしゅじんさまが…こっちみて…笑ってるぅ…♡

はあはあはあはあ…

頭の中まで完全に犬になってしまったようだ。

視界にご主人さまがいるというだけで今まで味わったことのない幸福感に支配されている。

「あはっ、もう完全に犬になっちゃった？」

でももう一つだけしなきゃいけないことがあってね…」

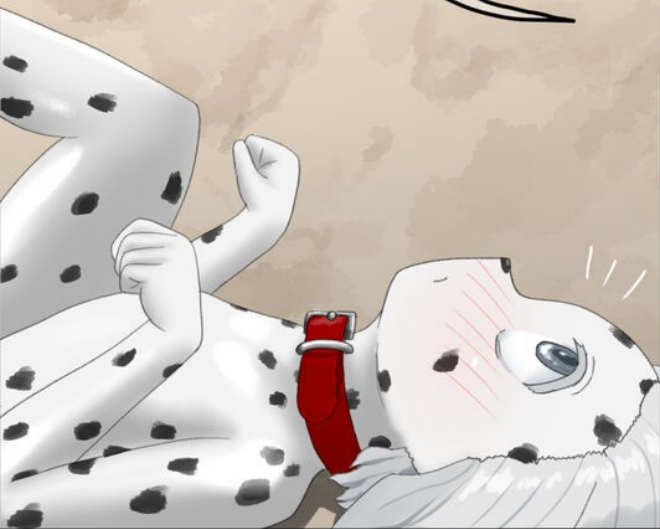
扉開いてるけど
入ってもいいかしら～？

誰!!?

の子ですねえ♡

あ、先生、ちょうどいいところに！
どうぞこちらへ！

はい、
ではお願いします！



そうそう、マロンちゃんは
知らなかったかもしれない
けど、ワンちゃんには
個体識別番号が記録された
マイクロチップを埋め込む
義務ができてね…

それを埋め込むために
わざわざ獣医さんに
来てもらったのよ♡

変な所刺さっちゃうと
危ないからそのまま
動かないでね～♡



ちよわ!!

※プレイの演出です。実際には中身はありません。



いや～、この子はお注射でもおとなしくて
おりこうさんですね♡

マロンちゃん
がんばったね～♡



では、
私は次があるので…

はいっ、
ありがとう
ございました！

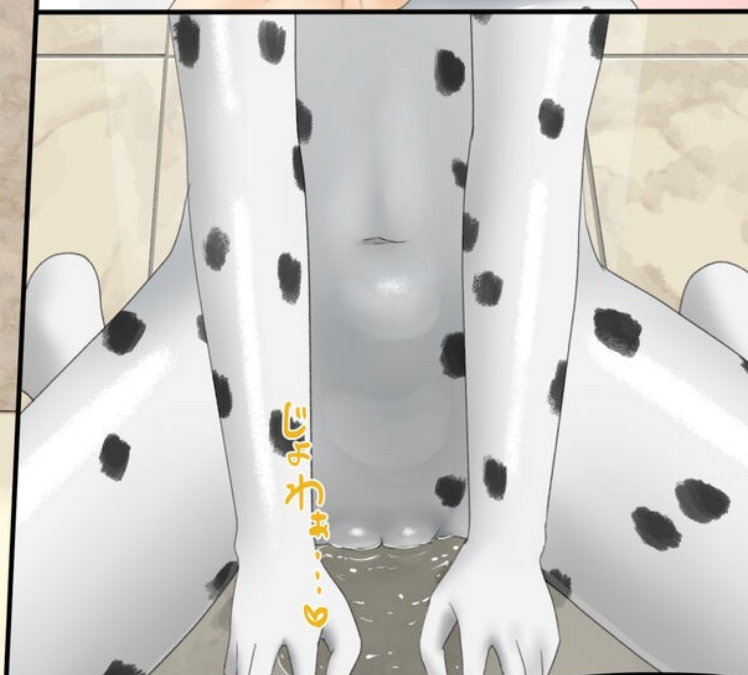
うっ…
ぐっ…

おたし…身も心も法律上もお姉さまの
飼い犬になっちゃったんだ…♡♡

うふふ、マロンちゃん、さっき打ったのはね、
本物の個体識別番号の入った正式な
マイクロチップだからね…
マロンちゃんはもう身も心も法律上も
「正式に私の飼い犬」
になったのよ？ どう？ うれしい？ww



はあ…
はあ…♡



じよわ…♡

あらあらw

こんなところでおしっこ
しちゃうだなんて躰が
必要なようね〜♡

仕方ないなあ、じゃ、ちょっと掃除するから
終わるまであのケージの中に入ってなさい♡
飼い犬の不始末は飼い主の責任だからね♡

ううう…わん…



わうう…
ごめんなさいごめんなさい



さっ、ハウス
ハウス!!

わう!!

へちん!

ガ
シヤ
ン!!



…檻の中…

…ご主人様を待つ犬の気持ち
ってこんな感じなのかあ…
む、この毛布、お姉さまの
ニオイが…

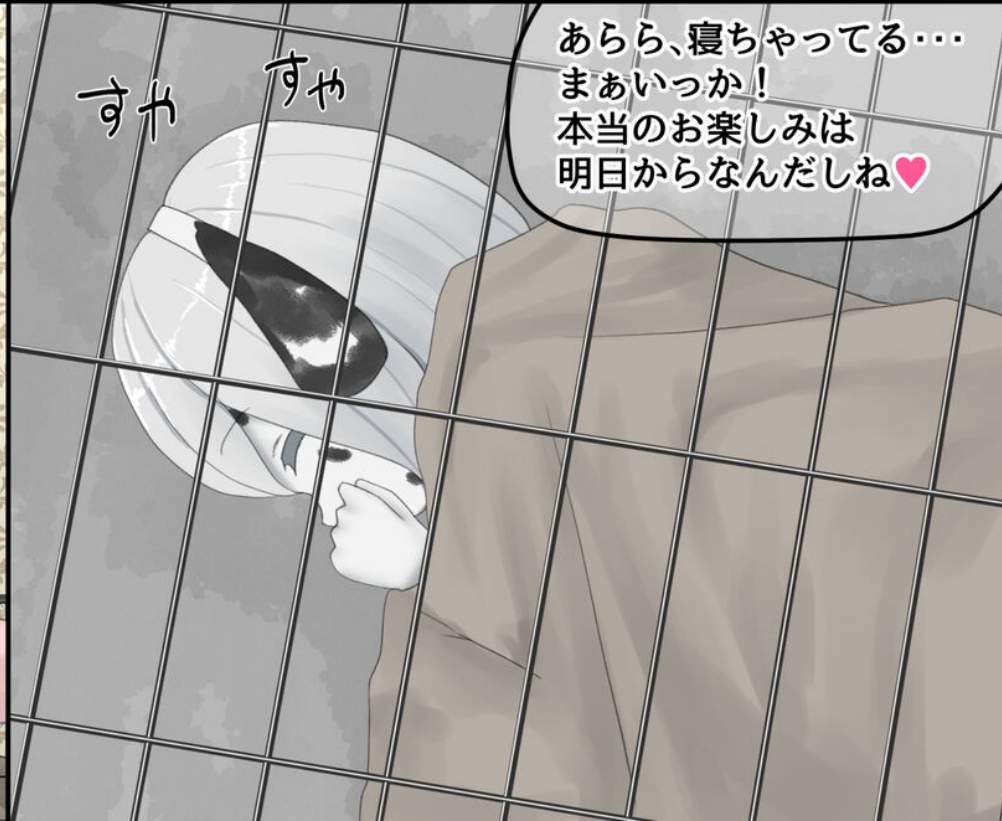


ス
ス
ス



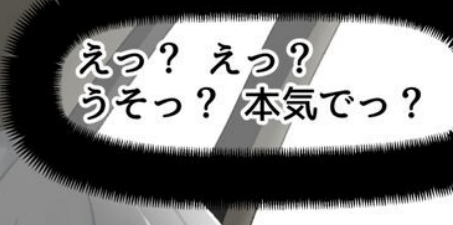
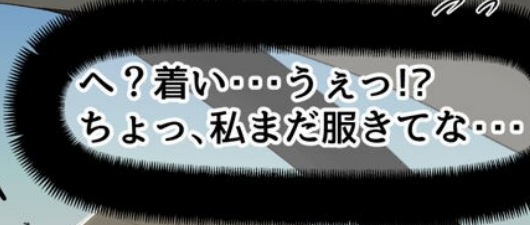
マロンちゃ〜ん
お掃除終わったよお〜♡

…およ?



す
す

あらら、寝ちゃってる…
まあいっか!
本当のお楽しみは
明日からなんだしね♡



行くよ~!! マロンちゃん!!

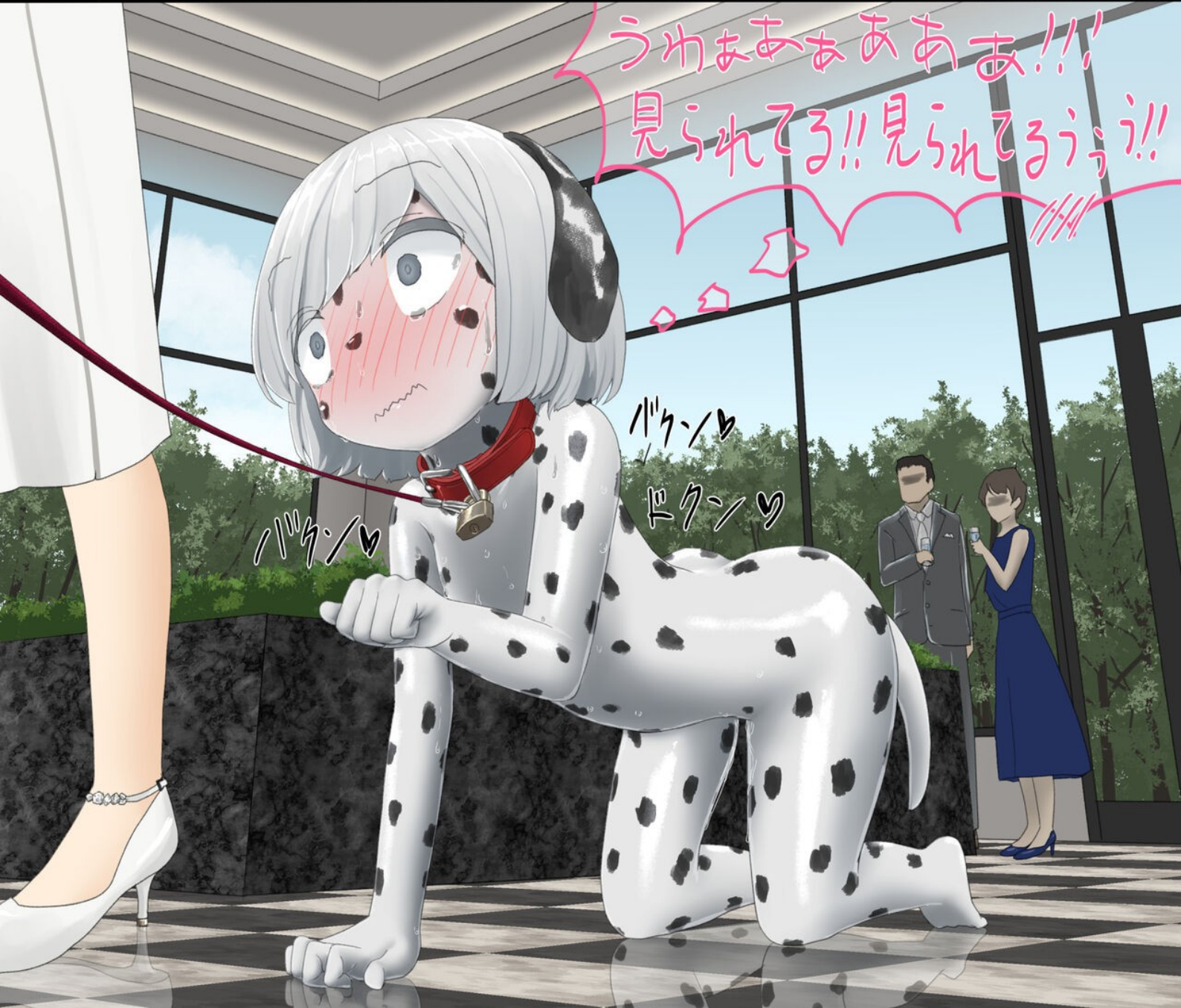
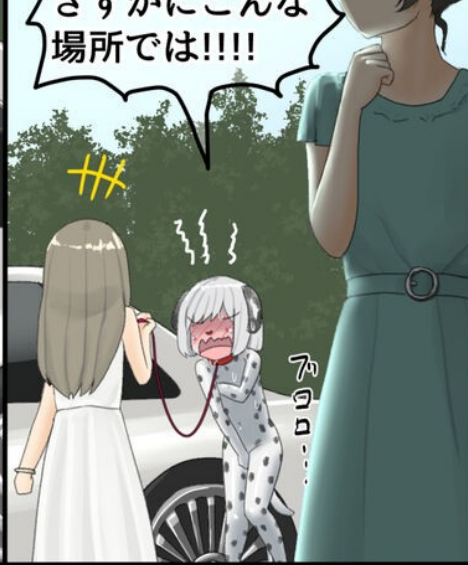
いやいやいやいや!! 私こんな格好!!

ほらっ、車も行っちゃったからどちらにせよ前に進むしかないからね♡

ほらほら、みんなに注目されてるんだしマロンちゃんは私のワンちゃんとしておりこうさんにしない♡

さすがにこんな場所では!!!!

ううう... わん...



うわぁぁぁぁ!! 見られてる!! 見られてるうう!!

バク・/♡

バク・/♡
ドクン♡

いああああああ
ああああああ



じゃっ、私はちょっとお話しするから
マロンちゃんは終わるまでそこで
おすわりしててくれるかな？

は、はやく終わらせて
くださいよお...

ほら、犬語♡

わうう...

うううう...恥ずかしい恥ずかしい!!!
さっきから背中にもものすごい視線を
感じる...絶対見られてるよお

お嬢様、既にお聞きか
存じますが社長の乗
飛行機が遅れてセレ
モニーに合わなく...

主賓挨拶をお嬢様
伺っておりますが
間違いないでし...

でもなぜだろう...

はい、その件でしたら先程
車内で父より伺っております。

あちらの天候も荒れていたこと
こういうこともあろうかと事前
しておりました。
今回は父に代わって私が挨拶を執
ますのでセレモニーホールにご案
内いただけるかしら？

こんな恥ずかしい姿が
みんなに見られてるって
思うと気持ちよく...

おお!!
さすがお嬢様でございます!!
それでは私がホールまで
ご案内いたします!!

マロンちゃん、
やっぱり予定変更!!
ホールに急ぐよっ!!

早く早く!!

えっ?
わうっ!?

わわわわっ!!
わうっ!!
わううっ!!



…そして大切なワンちゃんと一緒に
リゾートをお楽しみいただけますように
全室ドッグフレンドリールームとして…

…また、ホテル専属の獣医師による
ワンちゃん健康診断サービスなども
充実し…



うわあああああああああ!!!
いやあああああああ!!!!
早く終わってえええええ!!!!

最後に愛犬家の皆様向けに
当ホテル自慢の散歩コースの
ご紹介をさせていただきます。

うえっ!?
まだあるの!?



ズタズタスタ…



それでは皆様、こちらをご覧ください！
このいかにもなデザイン、ずばりこちらは
ワンちゃんたちのためのマーキング専用の
ポールとなっております。
しかし一体どこがマーキング専用のポール
なのかと申し上げますと・・・

外に出てしばらく歩いたかと思うと、いかにもな棒の手前でお姉さまは足を止めた。
散歩コースの中に一定間隔で設置されている頑丈そうな棒・・・
お姉さまの説明を聞く限りやはりこの棒はマーキング用の棒であるようだ。

ほら、マロンちゃん、わかってるよね？
今からデモンストレーションするから
ちゃんと足を上げてここにおしっこしなさい！



お姉さまから小声で恥ずかしい命令が伝えられる。
私は今から衆人環視の中、オス犬のように片足を上げておしっこをしなければならぬ。
あ、あ、あんなポーズとるだけでも恥ずかしいというのに、さらにおしっこまで…
…だからといって私がぐずってしまうとせっかくのお姉さまの説明が無駄に…うう…
つ、つまり私がお姉さまのメンツを守るためにすべきことは一つ…



…こちらの素材は非常に劣化しにくい素材で作られているため、よくある鉄製の道路標識のようにおしっこを根元が錆びて倒壊するというリスクがないので安心してマーキングさせてあげられ…

何事もなかったかのように説明を続けるお姉さま。
私は意を決しておしっこをするオス犬のように片足を上げた。
足を開いて丸出しにした私の恥部にお外の風が当たる…
みんなの視線さえなけりや結構好きな感覚なんだけどな…なんて思いながら
ご主人さまの威厳を守るために私は言われるがままにお腹に力を入れた。

ご覧の通り遊歩道は浸透性の良い素材で舗装されているので、おしっこをしても水たまりになりにくく雑菌の繁殖を…



びゃ————っ!! びちゃびちゃびちゃ!!

勢いよくおしっこが飛び出る。

とても恥ずかしいことなのに、ご主人さまの命令通りちゃんとおしっこが出来てほっとしている自分に気がつく。



今の私は全裸で全身に犬の模様を塗られて耳と首輪をつけ、お尻に尻尾を差し込んで、あげくに本物の飼い犬用マイクロチップまで埋め込まれてしまった女の子・・・
そして大勢の人たちの目の前で丸出しのまま四つん這いになってご主人さまの命令通り片足をあげておしっこをしている・・・
なんだかもうここまでくると人間として守るべきものが全部ぶっ壊れて身軽ささえ感じる・・・
そのせいかお外でおしっこをするという開放感をとても素直に味わえている・・・



はま〜っ♡

。。。出し切っ。。。ちやっ。。。た。。。♡
。。。大きな声で言えないけどこれ、今までで一番気持ちいいおしっこだったかもしれない。。。♡


このポールは自動水洗機能も
ございますので後始末の手間が省けますよ！



じゃーん!!

わんわん

どうやらこのポールのようなものは自動水洗機能を備えていたようだ。
っていうか、私せっかくマーキングしたのに全部流しちゃうの!?
ええええええ〜…残念だなあ…と、完全に犬としての感想が出てきている。



それでは次に参りましょう！



こちらのドッグランでされたウンチは
専属のスタッフが速やかに処理をいたします。
それでは実践してみましよう！
じゃあマロンちゃん、ここでウンチをくださいね♡

お姉さまは私の尻尾を
外してさっきのと比べ物に
ならないほどの恥ずかしい
命令を下す。
う、うそでしょ…
こんなに人が見てるのに…

しかしそれと同時にこれほどの命令をこなしたらどれほどお姉さまの飼い犬として満たされるのだろうか？

…という好奇心に駆られているのも事実である。

そ、それにほら、お姉さまのメツツもあるんだし、ここまできたらもうどうとでもなれだ。

お姉さま

メツツ…



んんっ。。。
私は人目も気にせずかみ始めた。



ムリユムリユムリユ...

衆人環視の中、全裸で太陽に照らされて草の匂いをかきながらうんちをする経験が出来るだなんて想像すらしなかったけど、今やっってることがまさにそれなのである。



ムリユ

ムリユ...

はあっはあっはあっはあっ…

「やっちゃった〜…私こんな格好して何やってんだろ…」という人間の感情と

「ご主人様の言う通りちやんどうんちしたよ!! 褒めて褒めて♥」

という犬の感情が同時に湧き上がったけども、正直犬の方が優勢です。



オプション料金はかかりますが、
回収したうんちを利用して健康診断の
サービスもご用意しておりますので、
どうぞお気軽にお申し付けください。

お姉さまの説明は続く、
私はこれだけ恥ずかしいことを済ませてしまったせいでもう怖いものなしだ。
お股丸見えて寝っ転がったりなんかして「言う通りにしたからご褒美をくれ」と
アピールをしている。

ほっ♡

ほっ♡

ほっ♡



説明は以上です！
それではここまで頑張ってくれた
マロンちゃんにもご褒美をお願いします！

きゃん♡

きゃん♡

なご

なご

一斉に撫でられる私、正直悪くない感覚だ...

それでは今回頑張ってくれた
栗栖川さんには今一度
大きな拍手をお願いします♡

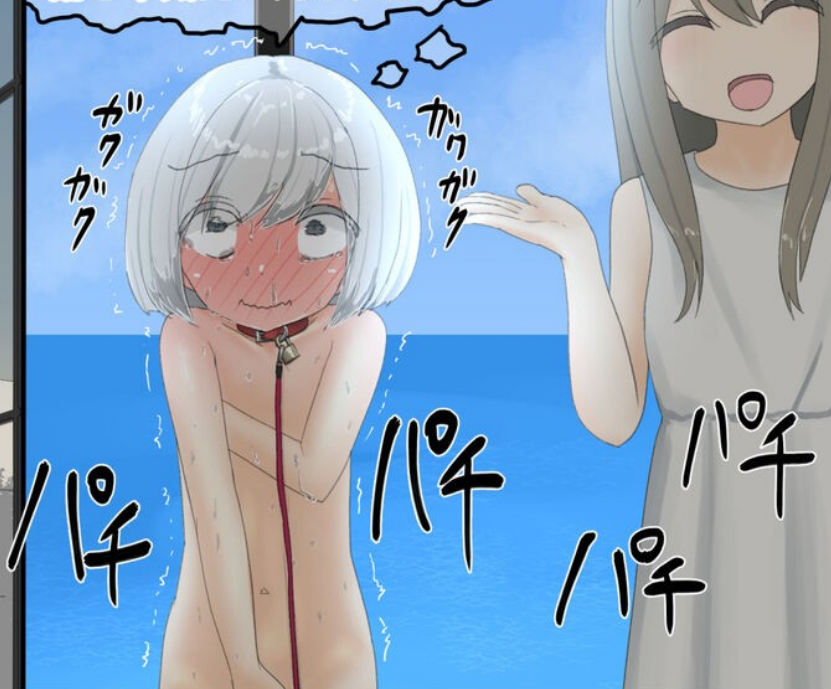


ありがとうー♡

かわいかったよー♡

ちよっ!?!
名前!!

恥ずかしいいいい!!
犬になってたときは裸でも
割と平気だったのに!!



ガク
ガク
ガク

ガク
ガク
ガク

10千

10千

10千

10千

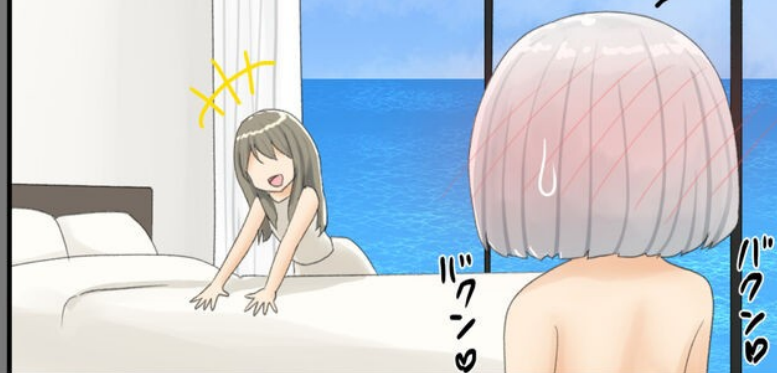
いや～
おつかれさまあ～

ふうう～…
恥ずかしかった…

612

さあさあ!!
ゆっくり休むと
いいよっ!!

まだ心臓バクバクで
ゆっくり休めそうに
ないのですが…



結局あれから朝まで
爆睡してしまった…



おはようございます
お席にご案内いたし…

栗栖川さん!!
こっちこっちー!!



おはよ~だワン♥

あお~ん

お、おね、おね、
えええええっ!?

ん?

あはっ、驚いちゃった?
実はここってそういう人達が
集まる施設なのよ♥

てことで今日は
栗栖川さんが
ご主人様だワン♥

そ、そんな...
恐れ多いですよ

わんわんっ♥

私なんか...

な!?

あっ、それとも
栗栖川さんも犬になって
一緒にワンワンする方が
お好みだったかしら?

へっ!?

はは~ん?

ニキニキ

おしまい?



裸に海風が当たるのって
気持ちいいよね~♡

お、お姉さまと...
繋がったまま!!!

わん
わんっ♡



いや～、前々から栗栖川さんと
こんなことできたらいいな～って
ずっと思ってたのよね～♡
わんわんっ♡

わ、わたしもずっと夢を
見ているような気分です!!!
わ…わんっ!!!



気持ちいい～～～っ!!
すごい「自然!!」って
感じしない?

私って今すっぽんぽんで
お姉さまと犬の格好して
お外歩いてるんだよね!?
色々見えだ…!!!



もうだめ。。。息が。。。!!!



もうだめかと思ったその時、何かが私の手をつかみ
私の口の中へと無理やり空気を送り込んできた。
ふう、ほお、ふう、ほお…あああ、徐々に意識が戻っていく…
「!?」
思わず目を見開く…お、お姉さま!?

!?

フゴッ
フゴッ
フゴッ





んんっ...

私...口移しでお姉さまに空気を送ってもらっている...
よく考えたらこれって...ディープキスだ...
んんっ...空気を送るお姉さまの舌が私の舌に触れる。
私は思い切って自分の舌をお姉さまの舌に押し付け...絡め回し始める。
お姉さまは静かに受け入れてくれる...ああ...水の音が心地いい...



もっと...
このまま...♡

びゅん

びゅん

あの清楚なお姉さまとこんな変態じみた格好をして海の中でぎゅっと抱きしめ合う...
この瞬間がずっと続けばいいのに...あ、でもさすがにそれだと空気が...
でもこのまま逝けるのならそれはそれで...
夢見心地のまま、どんどん意識が海に溶けていく感じがする...もっと...このまま...





うーん……

ハアツ!!

息っ…
できてる!!

いや～、ごめんごめん
ちょっと調子に
乗りすぎちゃった♡

++



でもマロンちゃんが自分から
やっぱりもっとワンワンしたいって
言ってくるなんてねえ…♡

だ、だってこっちの方が
色々考えない分、素の自分が
出せるような気がして…



よ～っし、
だったら二回戦いっちゃおっか♡

わっ!?!
ちよっ!!

